

申請書類記入上の注意点

食道外科専門医認定申請書

- ・日本消化器外科学会の消化器外科専門医または日本消化器外科学会指導医で申請する場合は、日本胸部外科学会の会員であることが条件です。申請書には日本胸部外科学会の会員番号を記入してください。
- ・呼吸器外科専門医合同委員会の定める呼吸器外科専門医または日本呼吸器外科学会が認定する日本呼吸器外科学会指導医（旧専門医）で申請する場合は、日本消化器外科学会の会員であることが条件です。申請書には日本消化器外科学会の会員番号を記入してください。
- ・専門医認定証（写）、指導医認定証（写）は有効期限内のものを添付してください。有効期限が過ぎている場合は認められませんので、ご注意ください。

履歴書

- ・消化器外科専門医または日本消化器外科学会指導医で申請する場合は、日本消化器外科学会認定施設での3年間の勤務実績が必要です。該当する勤務実績の部分にマーカー等でしるしをつけてください。
- ・呼吸器外科専門医または日本呼吸器外科学会指導医（旧専門医）で申請する場合は、日本胸部外科学会認定施設または日本呼吸器外科学会認定施設での3年間の勤務実績が必要です。該当する勤務実績の部分にマーカー等でしるしをつけてください。

診療経験一覧表

- ・診療経験一覧表には、術者（執刀医）あるいは指導医（指導的第一助手）として携わった食道疾患症例の手術を記入してください。ただし、手術に入っていない指導医の場合は診療経験として認められません。また、上級者に対する指導的助手は基本的には認められません（指導的第一助手の定義については施行細則巻末の表2をご参照ください）。
- ・申請する手術のうち、食道癌に対する胸部食道切除術が15点以上必要です。診療経験一覧表の点数欄に記入する際、該当する胸部食道切除術の点数はまるで囲んでください。

- ・手術記事に指導医の項目欄がない場合は、手術記事コピーの術者欄にある申請者氏名の近傍に指導医である旨を明記し、必ず押印してください。
- ・手術を複数名で分担した場合は、手術記事コピーの術者欄にある申請者氏名の近傍に担当部位を明記し、必ず押印してください。
- ・申請者が1つの手術で複数の術式を担当した場合、複数の術式の点数を申請することができます。

【例1】胸部食道切除：1点＋胃による再建：0.5点＋3領域郭清（両側頸部リンパ節郭清術No.104＋No.101）：0.5点＝2点

【例2】非開胸食道切除：0.5点＋胃による再建：0.5点＝1点

※ただし執刀医、指導的第一助手の場合に限る

- ・手術記事コピーは、診療経験施設の手術記録（公文書）を必ずコピーしてください。術者、術式、疾患名、手術年月日などが確認できない場合は、認められませんので、ご注意ください。

研究業績

- ・論文は業績基準に該当する医学雑誌でも、食道に関連する内容でないと業績として認められません。
- ・掲載許可がおりていても、申請締切り日（7月31日）までに掲載されない論文は業績として認められません。

研修実績

- ・研修実績の対象となる学会は、業績基準に規定された諸学会に準じます。

推薦書

- ・近隣に本学会評議員がいないなどで推薦が得られない場合は、事務局までご連絡ください。食道外科専門医認定部会部会長に確認します。